

浄土と娑婆と、行ったり来たりの懐かしい方

連日最高気温は三十度を超えています。こう真夏日が続くと嫌になりますね。ただ、朝夕は気温は二十度を下回ってくれます。今のところ寝苦しい夜はまだありませんので助かります。

お盆が近づいてきたので、境内地の除草作業を行っています。「草引きは趣味です」と曰(い)うから公言(こうげん)しています。一日(いちにち)八時間(はつじかん)ほど草引きをしていると夕方(ゆふがた)には嫌(いや)になりますね。

「お盆が近づくと」と「今年(ことし)の初盆(はつぼん)は多いですか」とか「お盆(おぼん)になると先祖(せんぞ)が帰(かえ)って来(こ)ますとですよ」と尋ねられます。

最初の質問(しつもん)はお盆前(おぼんまへ)の恒例(こうれい)行事(ぎんじ)みたいなものです。次の質問(しつもん)は目(め)に見え(み)ない先祖(せんぞ)に對(たい)して一年(いちねん)に一度(いちど)は会(あ)いたいという思(おも)いから出る言(ことば)葉(は)かなと思(おも)ったりします。

常々(つねづね)、仏教(ぶつこう)に關(か)しての誤(ご)りで止(と)めて、変(か)えて欲(ほ)しい、考(かん)え方(かた)を変(か)えて欲(ほ)しいことを繰(くり)返(かえ)し伝(つた)えています。

その中(なか)、「葬儀(そうぎ)の清め塩(しほ)」は葬儀社(そうぎしゃ)のご協(きょう)力(りき)と皆(みな)さんの理(り)解(かい)があつて止(と)まりました。

「四十九日(しじゅうくにち)が三月(さんげつ)にかかるとい(い)けない」という迷(まよ)信(しん)につい(つ)いても「四十九日(しじゅうくにち)が三月(さんげつ)にかかると始(はじめ)終(しま)り(四十九(しじゅうくにち)苦(くる))」が身(み)(三(さん)に着(き)く(月(げつ)))というこ(こ)ろ合(あ)わせで、仏教(ぶつこう)的(てき)な考(かん)えに基(き)づくも(も)の(は)ないこ(こ)とを説(せつ)明(めい)し理(り)解(かい)して(い)た(だ)け(る)よ(よ)うに(な)り(ま)し(た)。

さて、「お盆(おぼん)の時(とき)だけ先(せん)祖(ぞ)は帰(かえ)つて来(こ)る」の考(かん)え方(かた)に(つ)いて、私(わたし)は「お浄土(じやうど)に救(きう)わ(れ)た先(せん)祖(ぞ)はお盆(おぼん)の時(とき)だけ還(かえ)つて来(こ)るのではな(な)く、迷(まよ)う私(わたし)を導(みち)くた(め)、常(つね)にお浄土(じやうど)からこの娑婆(さば)に還(かえ)りこの身(み)に寄(よ)り添(そ)い導(みち)いておら(ら)れる(還(かえ)相(さう)の菩(ぼ)薩(ざつ)とい(い)います)」と申(まを)して(お)ら(れ)ま(す)。

りますが、「お盆(おぼん)の時(とき)だけ帰(かえ)る」の考(かん)え方(かた)は中(なか)々(々)変(か)わり(ま)せん。

そう言(い)え(ば)テ(レ)ビ(の)お線香(せんこう)の(コ)マ(ー)シ(ャ)ル(で)三遊亭(さんゆうてい)楽(らく)太(た)郎(ら)師(し)匠(じやう)(現(げん)円(えん)楽(らく)師(し)匠(じやう))が「ご先(せん)祖(ぞ)はお盆(おぼん)に帰(かえ)つて来(こ)る時(とき)はゆ(よ)つくり牛(うし)の背(せ)に乗(の)つて帰(かえ)つて来(こ)る、戻(もど)る時(とき)は馬(うま)の背(せ)に乗(の)つて来(こ)る」と言(い)つて(い)ま(し)た(ね)。



お線香(せんこう)メ(ー)カ(ー)の(コ)マ(ー)シ(ャ)ル(と)い(う)こ(と)、テ(レ)ビ(の)影(えい)響(きやう)力(りき)、そ(し)て昔(むかし)から「お盆(おぼん)に(ご)先(せん)祖(ぞ)は帰(かえ)つて来(こ)る」と言(い)わ(れ)て(き)た(こ)と(が)、考(かん)え(が)変(か)わ(ら)ない原(げん)因(いん)な(の)で(し)ょう(か)っ?

浄土(じやうど)真(ま)宗(そう)で(は)阿(あ)弥(あ)陀(だ)さ(ま)の慈(じ)悲(ひ)に(出(で)っ)て、阿(あ)弥(あ)陀(だ)さ(ま)を疑(ぎ)い(な)く信(しん)じて、そ(の)身(み)を(そ)のま(ま)お(ま)か(せ)す(と)お(育)て(い)た(だ)い(た)方(かた)は、臨(りん)終(しゆう)の(そ)の時(とき)に(お)浄土(じやうど)に(救(きう)わ)れ(て)、さ(と)り(の)智(ち)慧(え)を(た)ま(わ)り、あ(ら)ゆ(る)命(いのち)を(救(きう)う)た(め)に(は)た(ら)く(身(み)に)な(り)ま(す)。

は(た)ら(く)た(め)に(お)浄土(じやうど)と(娑(さ)婆(ば)を)常(つね)に(行(い)き)来(こ)す(姿(すがた)を)還(かえ)相(さう)の(菩(ぼ)薩(ざつ)と)教(きょう)え、聞(き)か(せ)て(い)た(だ)く(の)で(す)。

令(れい)和(わ)初(し)の(孟(ま)蘭(らん)盆(ぼん)会(え)、常(つね)に(お)遇(あ)い(し)て(い)る(懐(なつか)しい)方(かた)々(々)で(す)が、仏(ぶつ)教(きょう)の(孟(ま)蘭(らん)盆(ぼん)と)い(う)伝(でん)統(とう)的(てき)な(行(ぎやう)事(じ)に)際(さい)し、改(か)め(て)こ(の)身(み)に(寄(よ)り)添(そ)い、支(し)え、導(みち)い(て)お(ら)れ(る)ご(恩(おん)を)喜(よろこ)び(た)い(も)の(は)ず(す)。

台(たい)風(ふう)の(来(き)ない)お(盆(ぼん)で)あ(れ)ば(と)念(ねん)じ(る)ば(か)り(で)す)。

法語の世界

《原文》

一流(いちりゅう)真(ま)宗(そう)の(う)ち(に)て(法(ほう)を)そ(し)り、わ(ろ)さ(ま)に(い)ふ(人(ひと)あ)り。こ(れ)を(思(おも)ふ)に、他(た)門(もん)・他(た)宗(そう)の(こ)と(は)是(ぜ)非(ひ)な(し)。一(いっ)宗(そう)の(う)ち(に)か(や)う(の)人(ひと)も(あ)る(に)、わ(れ)ら(宿(しゆく)善(ぜん)あ)り(て)こ(の)法(ほう)を(信(しん)ず)る(身(み)の)た(ぶ)と(さ)よ(と)思(おも)ふ(べ)し(と)云(い)ふ(々(々))。

〔蓮(れん)如(にょ)上(じやう)人(にん)御(ご)一(いち)代(だい)記(き)聞(もん)書(しよ) 二(に)百(ひゃく)三(さん)十(じゆう)八(はち)〕

《現代語訳》

「浄土(じやうど)真(ま)宗(そう)の(な)か(に)身(み)を(置(お)き)な(が)ら、み(教(きやう)え)を(謗(わ)り、悪(わる)く(い)う(人(ひと)が)い(る)。考(かん)え(て)み(る)と、他(た)宗(そう)か(ら)の(非(ひ)難(なん)で)あ(れ)ば(仕(しか)た)が(な)い(が)、同(おな)じ(浄(じやう)土(ど)真(ま)宗(そう)の(な)か)に、こ(の)よ(う)な(人(ひと)が)い(る)の(は)あ(る)。そ(れ)で(あ)る(に)、わ(た)し(た)ち(は)尊(とん)い(ご)縁(えん)が(あ)つ(て)、こ(の)み(教(きやう)え)を(信(しん)じ)る(身(み)と)な(つ)た(の)だ(か)ら、本(ほん)当(とう)に(あ)り(が)たい(こ)と(だ)と(喜(よろこ)ば(な)け(れ)ば(な)ら(な)い)」と仰(おほ)せ(に)な(り)ま(し)た)。

花の写真 二景



▲ ヒメユリ 6月15日、鮎川穂子さん撮影
のヒメユリで、丁子松岡巧
に自生しているそうです。
希少生物(高千穂町祖母山系)
で地域の人が保護に力を注いで
ます。(松岡綾子さん提供)



▲ 浄専寺の蓮 浄専寺の蓮が開花しなければ寺
当山の蓮と7月18日に撮影し
報表紙にしました。
浄専寺には山門前(この蓮)
としだれ桜下と泉水の三カ所に
蓮があります。